

日本語教師アシスタントとしての経験

埼玉親善大使レポート

留学先：オーストラリア ブリスベン

名前 森田 順子

この度、平成30年7月から12月までの約5か月間、オーストラリア、ブリスベンの私立の女子校で日本語教師のアシスタントを経験しました。ブリスベンはクイーンズランドの州都であり、シドニー、メルボルンに次ぐオーストラリア第3の都市です。年間を通して晴れの日が多く、国民性はおおらかな人柄の人が多いという印象をうけました。私は、大学で教育について学んでおり、他国の学校や子どもについて知りたい、関わってみたいと以前から考えていました。留学先をオーストラリアに決めた理由は、多国籍国家ともいわれるこの国で、より多くの考え方にであい、様々なことを学ぶことができるのではないかと考えたからです。こちらのレポートでは、現地で行った活動について報告します。

私は小学5年生から高校3年生までの日本語の授業のアシスタントをやらせていただきました。私がまず驚いたことは、1クラスの生徒数でした。小学生はクラス全体の人数が約25人程でしたが、中学生、高校生になると言語の授業は選択制でした。その学校には、日本語の他に、ドイツ語、フランス語、中国語があったため、1クラス8人で構成される授業もありました。少人数クラスでは、大人数クラスと比較すると、必然的に生徒一人ひとりが先生と関わる時間が多くなります。特定の時間を設けずとも、生徒からの発言、質問が多くあり、自由度が高いうえに、子どもの興味・関心を大切に進行する授業にとっても魅力を感じました。また、生徒は小学生のころから学校から1人1台ノートパソコンを貸与されており、授業の教材としてパソコンを使用して音声をきいたり、問題を解いたり、課題を提出したりして、効率的に学習を行っていました。日本語の授業内容は単純に教科書を開いて読む授業にとどまらず、歌や音楽に合わせて挨拶や言葉を学び、ときには日本のドラマやアニメを教材の1つとして使用することもありました。さらに授業は座学だけでなく、日本文化について学ぶ体験型授業もあり、それらはどの学年でも好評でした。小学生の授業ではおにぎりを握って食べたり、こけしに色を塗ったりしました。中学生は日本食レストランで日本料理の注文の仕方、食べ方やマナーを学んだり、習字をしたり、着物の着付けを学び実践したりしました。高校では日本と交換留学生の受け入れを相互に行っており、一緒に授業を受けたりホームステイをしたりしていました。そのなかで私は、生徒たちが日本にとっても興味を持ってきていることに気づきました。最初の自己紹介の時に、生徒たちが好きな日本のアニメや漫画について熱く語ってくれたことは本当に印象的でした。さらに生徒たちは日本語の授業が大好きだと言ってくれました。日本は、他国にない独自の文化があり、言語だけでなく、行事、伝統、食べ物など興味の対象となるものが多く、それらは日本の良さであり、誇れるものなのだと改めて感じました。

しかし残念なことに、日本のことが好きだと話す生徒たちに、「日本の埼玉から来ました」と伝えると誰もわかりませんでした。しかしながら生徒たちは、「埼玉は東京に近い?」「人口は?」「何が有名?」など、多くの質問をしてくれました。最初は質問の多さに戸惑ったけれど、生徒たちの表情や反応をみて、質問するということは相手や相手の話に興味を持っているということを示しているのだと感じ嬉しく思いました。私は埼玉のグルメやラグビーワールドカップ、オリンピックのこと、埼玉スタジアムやJリーグ、浦和レッズのこと等について、自己紹介や授業の時に紹介をしました。その際、埼玉に行ってみたくて生徒たちからきくことができ本当に嬉しかったです。日本語教師は2人いて、台湾出身の方と中国出身の方でした。先生方は日本が大好きで、時々日本のニュースもみていました。春日部にある地下のパルテノン神殿、「首都圏外郭放水路」の見学ツアーが始まったというニュースがwebニュースで出たときには、とても興味をもっていました。先生だけでなく、日本語の勉強のために日本のニュースをみているという人に現地で何人も出会ったので、日本のニュースでも埼玉の良い点や取組み等がどんどんピックアップされてほしいと思いました。

今回、日本語教師アシスタントをしたことで、言葉や伝え方について多々考えることがあり、言語の奥深さについても学ぶことができました。この5か月間の経験は私の人生において重要なものになったと自信をもっていうことができます。改めて色々な角度から自分が生まれ育った日本、埼玉の良さを知れて良かったです。そしてそれらが学校の生徒や先生はもちろん、現地の人々とのコミュニケーションのツールとなってくれました。今後も世界で出会った人たちに埼玉の魅力を伝えつつ、親睦を深めたいです。今回、このような素晴らしいチャンスをくださった皆様に心より感謝申し上げます。この経験や学びを埼玉に還元していきたいと思えます。本当にありがとうございました。



(使用していた教科書)